

R5年度 6年生 生活・総合的な学習の時間

テーマ(単元名)

加西市を活性化させよう！



加西市役所観光課
・Soraかさい・観光協会
の願い

シーズのサポーター
加西市役所観光課・Soraかさい・観
光協会・ICT支援員

自分

働きかける対象
加西市役所観光課・Soraかさい・観
光協会

共感

①加西市の課題について知る。

(昨年度の6年生からの引継ぎで、観光客に市の施設を周遊してほしいという願いがある)

②加西市の施設についての魅力を班ごとに調べる。

③調べた魅力を全班で共有する。



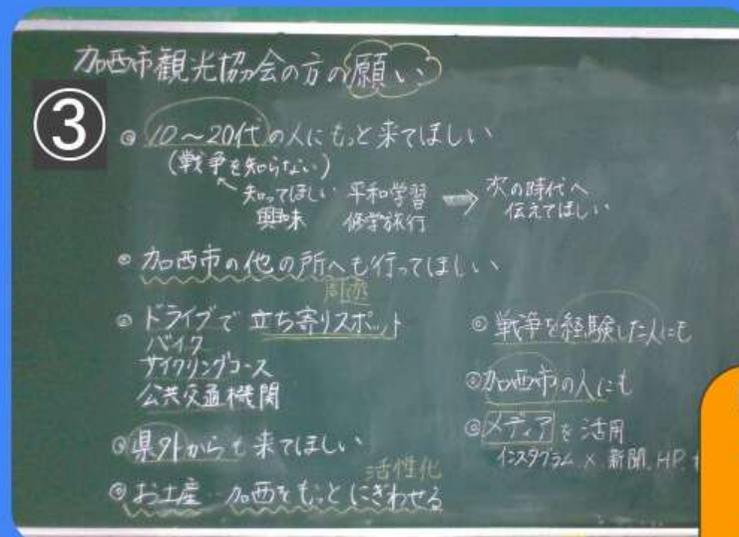
共感

①Soraかさいに行き、加西市やSoraかさいの観光面の現状や、市の観光に携わる方々の願いを聞く。

②Soraかさいで既に取り組みされている観光の工夫を見つけ、願いを実現するための材料を得る。

③①で聞き取った願いを全体で共有し整理する。

④②で見つけたことについて、市の方々に報告し、さらなる願い(修学旅行で見てきてほしいこと)を聞く。



【修学旅行でさらに見てきてほしいこと】

- ・外国人観光客へ向けた工夫
- ・体の不自由な方へ向けた工夫
- ・効果的な宣伝方法

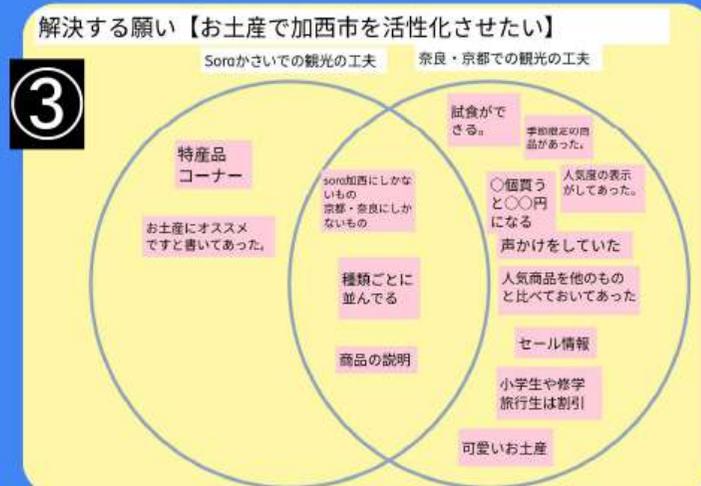
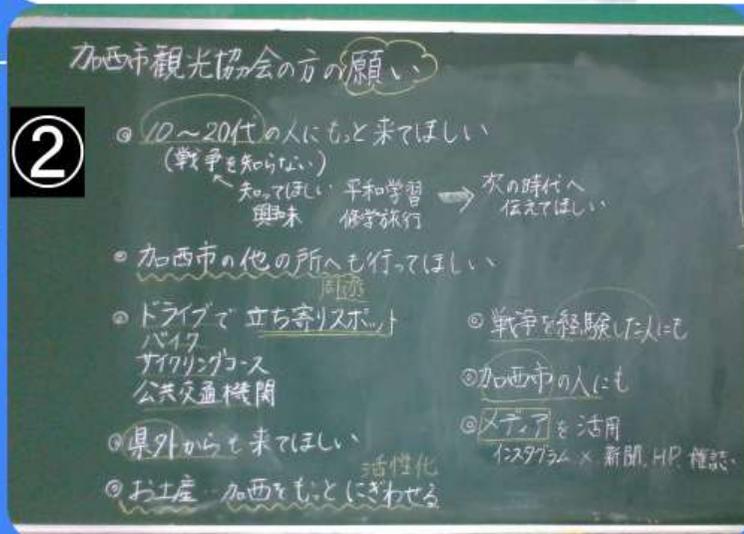
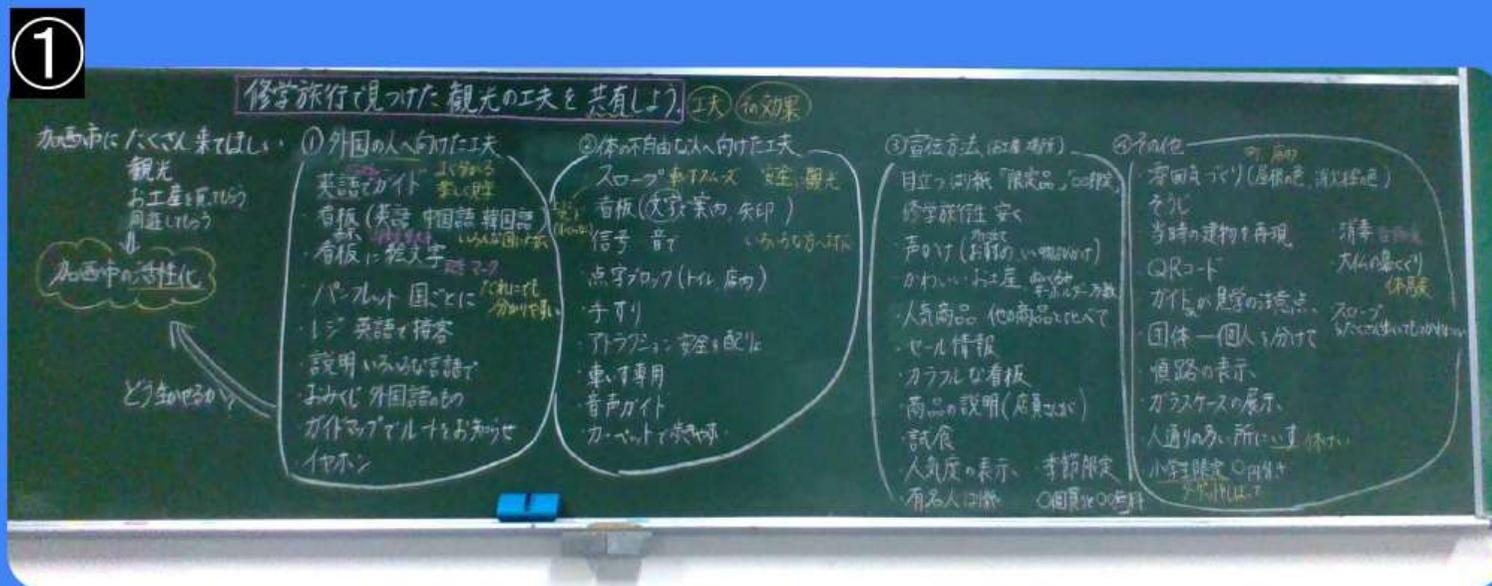
問題定義

説明

①修学旅行で見つけた観光の工夫を全体で共有する。

②加西市観光協会の方の願いをもとに、Soraかさいでの観光の工夫と奈良・京都での観光の工夫を比較する。

③ベン図を活用して整理することで、共通点・相違点を見つける。

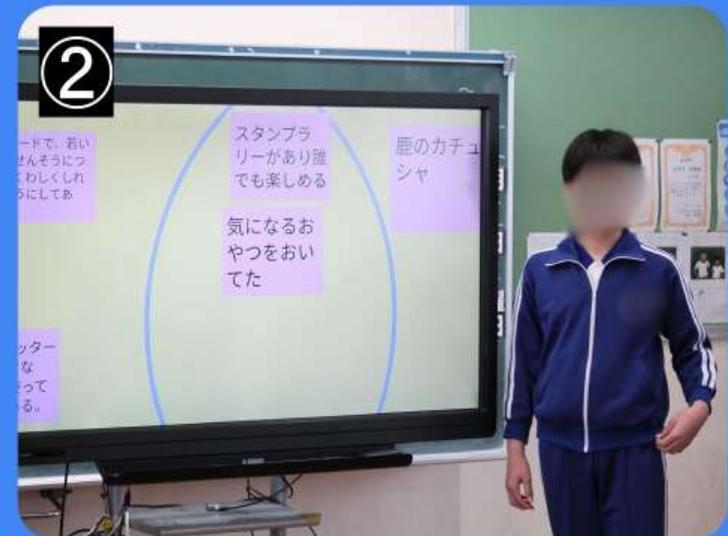


発想

①加西市観光協会の方々の願いを解決する方法について、考える。

②具体的な解決方法について提案し、観光協会の方から意見をもらうことで、複数あった案を1つに絞る。

① こけし（ねっぴーの顔）や紙風船、蹴鞠、竹とんぼ、お手玉、カルタ（加西市の地名かるた）など。



プロトタイプ

説明

提案会を開催した時にいただいたアドバイスを基に、複数あった中から一つ取り組みを決め、班ごとにプロトタイプを作った。

班での活動とは別に、学年全体でも一つのプロトタイプを作った。



【班で】

お土産で加西市を活性化させたい→季節限定・試食・割引の活用
・日本の伝統的なおもちや・・・を提案→季節限定のおもちやを選択し
具体化し試作



【全体で】

Soraかさいの各スポットを外国人観光客へ向け英語で紹介動画を作成。班ごとにスポット(防空壕、滑走路など)の担当を決めて試作。
QRコードを読み取ると紹介動画を見ることができる。

テスト

説明

作ったプロトタイプを市役所・観光協会の方々に提案をする。



児童の 振り返り



教員の振り返り

○成果

出口がはっきりとしたものであれば、主体的に活動に活動に取り組むことができた。

▲課題

カリキュラムマネジメントの必要性を強く感じた。

年間計画を更に見直し、盛りだくさんになりすぎないようにする工夫が必要。

sora加西について調べて、普段私達がsora加西の人たちの願いをしったり、その願いについて調べる機会はほとんどないので、地元にある加西市にある施設について調べたり考えたりすることができてよかったです。2学期にした5つの提案のそのうちの一つのアプリを再現することについて詳しく考えてみて、アプリを使ってくれる人が短時間でわかりやすく快適に使えるようにどのような工夫をするか試行錯誤して考えることができました。私は地元の人に来てもらうためになのでチラシを配るなど、簡単にできることもありましたが、他の市や県、国からも来てもらえるように難しい工夫をしている班もあってすごいなと思いました。普段の生活で、sora加西だけでなく他の施設などに行った時にもそこでどんな工夫をしているかなどを見つけたいと思いました。

修学旅行につなげて加西市にたくさんの観光客が来るということを考えられました。soraかさいの人からアドバイスをうけたうえでの解決方法を考えられました。わたしたちが考えた提案がsoraかさいや市役所などに採用されたらうれしいなととても思います。大人の方には思いつかない解決方法や自分たちらしい解決方法を考えることができて良かったです。「加西市を活性化させよう」というめあてにそって自分たちで考え、顔はめパネルを作ることができました。加西市のために、自分たちでいろんなことを提案し、考えることがとても大切だなと感じました。これからも私たちの加西市を大事にしていきたいと思います。